

令和8年度

大槌・釜石・小白浜漁港陸閘機械設備保守点検業務委託特記仕様書

第1章 総 則

第1条 適用範囲

本仕様書は、大槌・釜石・小白浜漁港陸閘機械設備保守点検業務委託に関して必要な事項を定める。

第2条 業務目的

本業務は、対象となる機械設備（又は施設）が使用条件を考慮して十分機能を発揮し安全確実に履行できるよう点検及び整備を行うものである。

第3条 一般事項

水門設備の点検・整備にあたっては、設計図書によるほか、次の基準・要領等に準拠するものとする。

- (1) 共通仕様書（Ⅰ～Ⅲ）岩手県県土整備部
- (2) 岩手県海岸保全施設等設計マニュアル（岩手県）
- (3) 遠隔操作監視設計マニュアル（岩手県）
- (4) 日本産業規格（J I S）
- (5) 日本電機工業会規格（J E M）
- (6) 機械工事共通仕様書（案）（国土交通省）
- (7) 機械工事施工管理基準（案）（国土交通省）
- (8) 機械工事塗装要領（案）同解説（国土交通省）
- (9) 電気設備に関する技術基準に定める省令（国土交通省）
- (10) 自家用電気工作物保安規定（経済産業省）
- (11) ダム・堰施設技術基準（案）（国土交通省）
- (12) 国土交通省河川砂防技術基準（案）（国土交通省）
- (13) ゲート点検・整備要領（案）（ダム・堰施設技術協会）
- (14) 海岸保全施設維持管理マニュアル（農林水産省、国土交通省）
- (15) 電気通信施設点検業務共通仕様書（案）（国土交通省）
- (16) 電気通信施設点検基準（案）（国土交通省）
- (17) その他、関係法令規則

第4条 点検対象施設

点検対象施設は、別表1によるものとする。

第2章 点 検

第1条 目 的

点検の目的は、機械設備（又は施設）の偶発的損傷、構造的損傷及び経年的損傷などによる不良部分を発見することによる設備機能損失の未然防止のほか、計画的な整備・更新のために設備健全度や劣化傾向を把握し、修理・改善を行うための資料を得ることを目的とする。

第2条 点検内容

- 1 点検内容は、定期点検（1回/年）とし各点検について点検方法、測定箇所等を記入した点検要領を点検・整備業務計画書にて監督職員に提出するものとする。
- 2 点検は外部から目視による点検及び分解を伴う内部の目視点検のほか、端子の増し締め、点検用器具（ノギス、テストハンマー、絶縁抵抗計、回路計、クランプ式電流計、接地抵抗計、振動計、ダイヤルゲージ、マイクロメーター、シックネスゲージ、塗膜厚計、挟み込み動作力計等）を用いて点検するものとし点検項目等は点検表（様式1～5）による。
- 3 設備の機能維持のための、清掃、補修塗装、調整、給油脂、部品交換、修理等を行い、確認運転（総合操作の機能確認及び調整）を実施するものとする。

第3条 点検作業

受注者は、点検作業については次によるものとする。

- 1 機械設備（又は施設）の点検においては、事前に各設備の設置目的、使用環境、周辺状況、過去の故障・修理・改造・点検の履歴等、点検履行に必要な設備特性を考慮のうえ、履行しなければならない。
- 2 点検実施者は、当該機械設備（又は施設）の機能、構造等に精通し、かつ点検に十分な知識と経験を有するものでなければならない。
- 3 点検にあたっては、事前に作業手順、作業工程について検討を行い、履行を行わなければならない。
- 4 点検においては外観等の状態を確認する箇所は十分な清掃を実施しなければならない。
- 5 点検は、各々の点検項目に基づき、点検時に点検表に記入するものとし項目毎に異常の有無を確認するものとする。
- 6 点検中、早急に修理又は改善を要する不良、不具合箇所等を発見した場合は、速やかに監督職員に報告するものとする。
- 7 受注者は、整備終了後、設備が確実に機能を回復していることを試運転等によって確認しなければならない。
- 8 点検にあたっては、当該機械設備（又は施設）の機能面及び安全面の確認を行うものとし、改善及び対策が必要と思われる場合は、点検・整備業務報告書にて監督職員に報告するものとする。

第4条 機械器具、測定器具等

- 1 点検に必要な仮設資材及び機械器具、測定器具等（スケール、温度計、湿度計、振動計、絶縁抵抗計、回路計等）は、設計図書に示される条件に基づき、受注者の責任と費用負担により準備しなければならない。
ただし、備えつけの特殊工具については、監督職員の承諾を得て使用できるものとする。
- 2 点検において、作業場所に建設機械を配置する場合は、作業性、安全性に十分留意し配置するものとする。

第3章 点検記録の作成

第1条 点検記録

- 1 受注者は、点検記録の作成にあたっては、点検項目に基づき、設備・機器の状況変化や経過等が把握できるよう、点検結果の記録を整理作成するものとする。
- 2 受注者は、点検及び整備の結果、不具合箇所があった場合は、当該箇所の状態、原因、処置方法もしくは改善方法を取りまとめ、点検整備詳細報告書に写真等現場状況を確認出来る資料を添付のうえ、報告するものとする。

- 3 受注者は点検及び整備後、設備が確実に機能回復していることを試運転等により確認し、運転記録等詳細報告書により報告するものとする。
- 4 点検表は必要に応じて項目を削除または追加することができるものとする。

第2条 提出書類

受注者は点検後及び整備を実施した場合は、以下により報告書を作成のうえ監督職員に提出するものとする。

- 1 点検整備総括表（様式1）
- 2 点検整備詳細報告書（様式2）
- 3 点検記録表（陸閘）（様式3）
- 4 運転記録等詳細報告書（様式4-1、4-2）
- 5 点検・整備要領表（様式5）

第4章 特記事項

第1条 部品調達

- 1 点検の結果、整備が必要と判断される場合は、監督職員に協議のうえ決定するものとし、応急措置・復旧に要する部品等は受注者が監督職員と協議の上調達すること。ただし、予備品等が存在する部品は発注者から支給するものとする。

なお、受注者が調達した部品等の費用は本業務で対応するものとする。

- 2 故障復旧にメーカーの調査・大規模な補修・部品交換等を要する場合には、本業務の対象外とする。

第2条 交通誘導警備員

点検中は、交通事故防止及び通行車両の円滑な進行を促すため、交通誘導を行うこと。

第3条 その他

本仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者とが協議して定めるものとする。

別表1 点検対象施設

1. 陸閘（電動式）

場所	釜石市新浜町	釜石市唐丹町	
名称	釜石5号陸閘	小白浜1号陸閘	小白浜2号陸閘
開閉方式	電動車輪走行式	電動車輪走行式	電動片開きスイング式
扉体幅	7.00m	6.00m	3.51m
扉体高	4.31m	4.50m	3.00m
門数	1門	1門	1門

2. 陸閘（浮体式）

場所	大槌町赤浜			釜石市新浜町						釜石市唐丹町
名称	赤浜1号陸閘	赤浜2号陸閘	赤浜3号陸閘	釜石1号陸閘	釜石2号陸閘	釜石3号陸閘	釜石4号陸閘	釜石6号陸閘	釜石8号陸閘	小白浜3号陸閘
開閉方式	浮体起伏式									
扉体幅	5.00m	10.00m	6.00m	13.00m	7.00m	9.00m	5.00m	10.00m	8.00m	5.00m
扉体高	4.77m	4.72m	3.12m	4.06m	4.06m	4.28m	4.49m	4.70m	3.79m	2.50m
門数	1門									

別表2 点検対象範囲

1. 陸閘（電動式）

設備区分	細別	点検頻度	点検項目
機械設備	扉体 戸当り 水密部 開閉装置 機側操作盤 開度計 挟み込み防止装置 予備エンジン 非常用発電機 附属設備	1年に1回	<ul style="list-style-type: none"> ・亀裂、磨耗、たわみ、変形、腐食、取付ボルトの緩み等の点検 ・給油脂状態 ・塗膜の発錆、ふくれ、剥離、亀裂等の点検 ・機側操作盤の保護装置作動試験 ・各種計測 ・開度計の指示点検 ・動作試験 ・清掃 ・給油脂

2. 陸閘（浮体式）

設備区分	細別	点検頻度	点検項目
機械設備	全般 扉体 支承部 側部水密部 底部水密部 テンションロッド 側部戸当り 起立補助装置 強制起立装置 付帯設備	1年に1回	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、損傷 ・振動、異常音、たわみ・変形、扉体着床状態、扉体浮上開始荷重等 ・動作確認、ゆるみ、損傷・腐食、脱落 ・動作確認、劣化、損傷、変形、磨耗、脱落 ・動作確認、損傷・腐食、張り具合確認、割れ等 ・汚れ、磨耗、ゆるみ、損傷・腐食、脱落等 ・清掃状態、損傷・劣化、変形・発錆、動作試験、ボルト・ナット、軸・軸受等 ・清掃状態、損傷・劣化、変形・発錆、動作試験、ボルト・ナット、軸・軸受等 ・清掃状態

(様式1)

点検整備総括表

令和 年度

場所	水門名称	設備の 区分	電動・浮 体の区 分	常時開・ 閉の区 分	寸法(m)	点検実施日	判定ランク	備考
					(幅×高)			
釜石市	新浜町	釜石5号陸閘	陸閘	電動	開	7.00 × 4.31		
	唐丹町	小白浜1号陸閘	陸閘	電動	開	6.00 × 4.50		
		小白浜2号陸閘	陸閘	電動	開	3.51 × 3.00		
		小白浜3号陸閘	陸閘	浮体	開	5.00 × 2.50		
大槌町	赤浜	赤浜1号陸閘	陸閘	浮体	開	5.00 × 4.77		
		赤浜2号陸閘	陸閘	浮体	開	10.00 × 4.72		
		赤浜3号陸閘	陸閘	浮体	開	6.00 × 3.12		
釜石市	新浜町	釜石1号陸閘	陸閘	浮体	開	13.00 × 4.06		
		釜石2号陸閘	陸閘	浮体	開	7.00 × 4.06		
		釜石3号陸閘	陸閘	浮体	開	9.00 × 4.28		
		釜石4号陸閘	陸閘	浮体	開	5.00 × 4.49		
		釜石6号陸閘	陸閘	浮体	開	10.00 × 4.70		
		釜石8号陸閘	陸閘	浮体	開	8.00 × 3.79		

(様式1)

点 検 整 備 総 括 表

令和 年度

判定ランク凡例

- A 機能上は問題なく、現状維持または経過観察等に対応できるもの
- B 機能上は問題ないが、精密な調査または補修等を要するもの
- C 至急改修を要するもの

【特記事項】

点検整備詳細報告書

地区名		箇所名		陸閘名称		
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視	<input type="checkbox"/> 月点検	<input checked="" type="checkbox"/> 年点検	<input type="checkbox"/> 臨時()
天候・気温		点検日		点検者		
1 判定区分						
2 総合所見						
3 異常(原因等)及び整備の状況						
4 処置済みまたは要処置事項						

注 (1) 総合所見には点検結果を総括的に記述するとともに、必要に応じて今後の改修における留意点を記述すること。

(2) 判定区分欄には、以下の凡例で記入すること。

A 機能上は問題なく、現状維持または経過観察等で対応できるもの

B 機能上は問題ないが、精密な調査または補修等を要するもの

C 至急改修を要するもの

(3) 異常の状況は、設備点検表の区分、点検部位、点検項目ごとに点検結果、原因等を記載すること。

点検記録表(陸閘)①

地区名		箇所名		陸閘名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

区分	点検項目	点検内容	点検方法	巡視	定期		臨時	点検結果	判定基準
					月	年			
扉 体	全般	清掃状況	目視	○	○	○		良・否	・ひどい汚れ、油等の付着がないこと
		ごみ、流木、土砂等	目視	○	○	○	○	良・否	・ごみ、流木、土砂等がないこと
	構造全体	振動	指診		○	○		良・否	・異常振動がないこと
		異音	聴診		○	○		良・否	・異常音がないこと
	スキンプレート	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		溶接部の割れ	目視			○		良・否	・割れがないこと
	主桁、補助桁	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		溶接部の割れ	目視			○		良・否	・割れがないこと
	小扉	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		開閉状態	動作確認		○	○		良・否	・開閉に支障なく正常に動作すること
	ケーブルベア	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		動作状態	動作確認		○	○		良・否	・開閉に支障ないこと
	ガイドレール	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		溶接部の割れ	目視			○		良・否	・割れがないこと
	ラックレール	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
損傷		目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと	
給油状態		目視		○	○		良・否	・油が供給されていること、油の劣化がないこと	
ボルト、ナット	緩み・脱落	打診			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと	
水密部	ボルト、ナット	損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		腐食	目視			○		良・否	・腐食がないこと

点検記録表(陸閘)②

地区名		箇所名		陸閘名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

区分	点検項目	点検内容	点検方法	巡視	定期		臨時	点検結果	判定基準
					月	年			
水密部	水密ゴム	損傷・変形	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷、変形がないこと
		劣化	目視			○		良・否	・劣化がないこと
		漏水	目視			○		良・否	・機能に支障がないこと
	ゴム押え	損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		変形	目視	○		○	○	良・否	・変形がないこと
	水密ゴム押えボルト	緩み・脱落	目視			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと
損傷		目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと	
腐食		目視			○		良・否	・腐食がないこと	
戸当り	全般	清掃状況	目視	○	○	○		良・否	・ひどい汚れ、油等の付着がないこと
		ごみ、流木、土砂等	目視	○	○	○	○	良・否	・ごみ、流木、土砂等がないこと
	底部戸当たり(レール)	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		溶接部の割れ	目視			○	○	良・否	・割れがないこと
	側部戸当り	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		溶接部の割れ	目視			○	○	良・否	・割れがないこと
	扉体ストップパー	緩み・脱落	目視			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		腐食	目視			○		良・否	・腐食がないこと
	ガイドローラ	損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		摩耗・腐食	目視			○		良・否	・摩耗、腐食がないこと
		回転状態	動作確認			○	○	良・否	・正常に回転すること
	ガイドローラ吊り金具	緩み・脱落	打診			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと
損傷		目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと	
腐食		目視			○		良・否	・腐食がないこと	

点検記録表(陸開)③

地区名		箇所名		陸開名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

区分	点検項目	点検内容	点検方法	巡視	定期		臨時	点検結果	判定基準	
					月	年				
戸 当 り	コンクリート部	コンクリートの損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと	
		コンクリートの漏水	目視			○		良・否	・機能に支障がないこと	
開閉装置 (構造体)	全 般	清掃状況	目視	○	○	○		良・否	・ひどい汚れ、油等の付着がないこと	
	架台	たわみ・変形	目視	○	○	○	○	良・否	・たわみ、変形がないこと	
		溶接部の割れ	目視			○	○	良・否	・割れがないこと	
	カバー	緩み・脱落	目視			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと	
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと	
		腐食	目視			○		良・否	・腐食がないこと	
	ボルト・ナット	緩み・脱落	打診			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと	
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと	
		腐食	目視			○		良・否	・腐食がないこと	
開閉装置 (走行装置)	走行用車輪 及び軸受け	損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと	
		摩耗・腐食	目視			○		良・否	・磨耗、腐食がないこと	
		給油状態	目視			○	○	良・否	・油が供給されていること、油の劣化がないこと	
		回転状態	動作確認			○	○	良・否	・正常に回転すること	
	水平補助ローラ (ガイドローラ)	損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと	
		摩耗・腐食	目視			○		良・否	・磨耗、腐食がないこと	
		給油状態	目視			○		良・否	・油が供給されていること、油の劣化がないこと	
		回転状態	動作確認			○		良・否	・正常に回転すること	
開閉装置 (動力部)	電動機	振動	指診、測定			○	○	良・否	・異常振動がないこと	
		異常音	聴診			○	○	良・否	・異常音がないこと	
		温度上昇	測定			○		良・否	・異常な温度上昇がないこと	
		電流値	測定			○	○	○	良・否	・大幅な変動がなく、定格電流値以下であること
		電圧値	測定			○	○	○	良・否	・作動時の定格電圧が±10%以内であること
		絶縁抵抗	測定			○	○	良・否	・絶縁抵抗計にて測定を行ない1MΩ以上であること	

点検記録表(陸 閘)④

地区名		箇所名		陸閘名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

区分	点検項目	点検内容	点検方法	巡視	定期		臨時	点検結果	判定基準
					月	年			
開閉装置 (動力部)	機械カバー	損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		変形	目視			○	○	良・否	・変形がないこと
		腐食	目視			○		良・否	・腐食がないこと
	カバー取付ボルト	緩み・脱落	打診			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		腐食	確認			○		良・否	・腐食がないこと
開閉装置 (制動部)	電磁制動機 電動油圧 上式制動機	作動状態	動作確認		○	○		良・否	・確実に動作し、瞬時に停止すること
		ライニングのすきま	目視、測定		○	○	○	良・否	・左右均等に適正なすきまが確保されていること
		ライニングの摩耗	目視、測定			○		良・否	・異常な磨耗、偏磨耗がないこと ・設計厚の70%以上の厚さが残っていること
		ドラムの損傷	目視			○	○	良・否	・損傷がないこと
		制動部の清掃状態	目視			○		良・否	・ひどい汚れ、油等の付着がないこと
		漏油	目視	○	○	○	○	良・否	・漏油がないこと
		絶縁油量	目視			○		良・否	・油面計の規定内であること
		油質	目視			○		良・否	・ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと
		絶縁抵抗	測定			○	○	良・否	・絶縁抵抗計にて測定を行ない1MΩ以上であること
		緩み・脱落	打診			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
開閉装置 (減速装置)	減速機・切替装置 取付ボルト	作動状態	動作確認		○	○		良・否	・確実に動作し、瞬時に停止すること
		振動	指診、測定			○		良・否	・異常振動がないこと
		異常音	聴診			○		良・否	・異常音がないこと
		温度上昇	測定			○		良・否	・異常な温度上昇がないこと
		漏油	目視	○	○	○	○	良・否	・漏油がないこと
		潤滑油量	目視			○		良・否	・油面計の規定内であること
		油質	目視			○		良・否	・ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと
		緩み・脱落	打診			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと

点検記録表(陸閘)⑤

地区名		箇所名		陸閘名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

区分	点検項目	点検内容	点検方法	巡視	定期		臨時	点検結果	判定基準
					月	年			
開閉装置 (動力伝達部)	切替装置	作動状態	動作確認		○	○		良・否	・確実に動作し、瞬時に停止すること
	連結軸	変形	目視			○	○	良・否	・変形がないこと
		損傷	目視		○	○	○	良・否	・損傷がないこと
	ハンドル軸及 び取付ボルト	ガタつき	指診			○		良・否	・異常なガタつきがないこと
		異音	動作確認			○		良・否	・異常音がないこと
		作動状態	動作確認		○	○		良・否	・確実に動作し、瞬時に停止すること
		緩み・脱落	打診			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		腐食	目視			○		良・否	・腐食がないこと
		軸受け	振動	指診		○	○		良・否
	異常音		聴診		○	○		良・否	・異常音がないこと
	給油状態		目視			○		良・否	・油が供給されていること。油の劣化がないこと
	損傷		目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
	緩み・脱落		打診			○	○	良・否	・緩み、脱落がないこと
	軸継手	振動	指診		○	○		良・否	・異常振動がないこと
		異常音	聴診		○	○		良・否	・異常音がないこと
		芯振れ	目視			○		良・否	・異常な芯振れがないこと
		給油状態	目視			○		良・否	・油が供給されていること。油の劣化がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
	防挟み 装置	全般	作動状態	測定			○		良・否
損傷			目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
過負荷防止機構		作動状態	動作確認			○		良・否	・正常に動作すること
リミットスイッチ		作動状態	動作確認			○	○	良・否	・設定値にて正常に動作すること

点検記録表(陸 閘) ⑥

地区名		箇所名		陸閘名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

区分	点検項目	点検内容	点検方法	巡視	定期		臨時	点検結果	判定基準	
					月	年				
機側操作盤(全般)	全 般	清掃状況	目 視	○	○	○		良・否	・ひどい汚れ、ごみ等がないこと	
		破損	目 視	○	○	○		良・否	・破損がないこと,施錠が完全であること	
		塗装状態	目 視			○		良・否	・鋼板表面に塗膜の剥がれ及び腐食がないこと	
		内部乾燥状態	目視、指診			○		良・否	・乾燥していること	
		絶縁抵抗	測 定			○	○	良・否	・絶縁抵抗計にて測定を行ない1MΩ以上であること	
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	動作確認		○	○	○	良・否	・点灯すること	
	スペースヒータ	作動テスト	動作確認		○	○	○	良・否	・サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入ること	
(機側操作盤)	電源ユニット	電源端子部の電圧確認	測 定			○	○	良・否	・メーカー推奨範囲以内であること	
	バッテリー	使用年数の確認	目 視			○	○	良・否	・前回交換より5年経過していないこと	
	ヒューズ	使用年数の確認	目 視			○	○	良・否	・メーカー推奨範囲以内であること	
	入出力ユニット	作動状態	動作確認			○	○	良・否	・ゲートを開閉し問題なく動作すること	
機側操作盤(表示)	機器、計器類 共通	汚れ、変色	目 視	○	○	○	○	良・否	・汚れ、変色がないこと	
		端子の緩み	指 診			○	○	良・否	・端子の緩みがないこと	
		異常音	聴 診			○		良・否	・異常音がないこと	
	電流計	電流値	測 定			○	○	○	良・否	・大幅な変動がなく定格電流値以下であること
		0点確認	目 視	○	○	○	○	良・否	・ゲート停止中に0点を指していること	
	電圧計	電圧値	測 定			○	○	○	良・否	・動作時の定格電圧が、±10%以内であること
	開度指示計	作動状態	動作確認			○	○	良・否	・実際揚程(または発信器)と指示値が合致していること	
表示灯	ランプテスト	目 視	○	○	○	○	良・否	・点灯すること		

点検記録表(陸 閘) ⑦

地区名		箇所名		陸 閘名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

区分	点検項目	点検内容	点検方法	巡視	定期		臨時	点検結果	判定基準
					月	年			
機側操作盤 (継電器)	3Eリレー	作動テスト	動作確認		○	○	○	良・否	・テストボタンを押して作動すること
		設定値確認	目視	○	○	○	○	良・否	・図面どおりの設定値であること
	サーマルリレー	作動テスト	動作確認		○	○	○	良・否	・テストボタンを押して作動すること
	漏電継電器	動作テスト	動作確認		○	○	○	良・否	・テストボタンを押して作動すること
	避雷器	汚れ、変色	目視	○	○	○	○	良・否	・ヒューズが熔断していないこと
	電磁接触器	動作テスト	動作確認		○	○	○	良・否	・異常なく作動すること
		異常音	動作確認		○	○	○	良・否	・異常音、振動がないこと
	補助リレー	作動テスト	動作確認		○	○	○	良・否	・異常音、振動がないこと
	タイマー	設定値確認	目視	○	○	○	○	良・否	・図面どおりの設定値であること
押釦スイッチ	作動テスト	動作確認		○	○	○	良・否	・開、閉、停が的確に作動すること	
配線・配管	配線	配線状態	目視			○	○	良・否	・損傷がないこと。断線していないこと
		端子のゆるみ	指診			○	○	良・否	・断線がないこと。ゆるみがないこと
	端子台	腐食	目視			○		良・否	・発錆がないこと
		緩み・脱落	指診			○	○	良・否	・ゆるみがないこと
	配管	配管状態	目視			○	○	良・否	・ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと
附属設備	手摺、点検歩廊	変形・腐食	目視			○	○	良・否	・変形、腐食がないこと
		損傷	目視	○	○	○	○	良・否	・損傷がないこと
		溶接部の割れ	目視			○		良・否	・割れがないこと

運 転 記 録 等 詳 細 報 告 書

地区名		箇所名		陸閘名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

1、商用電源動作測定

	揚程(m)	電圧(V)	電流(A)	各部の温度(°C)				判定基準 (設計時間)	所要時間	判定
				①	②	③	④			
上昇・開										
下降・閉										

2、非常電源動作測定

	揚程(m)	電圧(V)	電流(A)	各部の温度(°C)				判定基準 (設計時間)	所要時間	判定
				①	②	③	④			
上昇・開										
下降・閉										

3、温度上昇計測

項目	基準値	判定	備考
電動機	基準値 電動機:40°C以下(計測温度-周囲温度)		
減速機	基準値 減速機:50°C以下(計測温度-周囲温度)		
軸受け	基準値 40°C以下(計測温度-周囲温度)		

運 転 記 録 等 詳 細 報 告 書

地区名		箇所名		陸閘名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

4、絶縁抵抗測定

測定範囲	判定基準 (設計値)	測定値	判定	備考

5、接地抵抗測定

測定範囲	判定基準 (設計値)	測定値	判定	備考

6. 挟み込み防止装置動作圧力測定結果

測定項目	測定結果(Mpa)			判定基準	判定	備考
	上段	中段	下段			
挟み込みセンサ①						
挟み込みセンサ②						
挟み込みセンサ③						
挟み込みセンサ④						

[特記事項]

- 1、揚程は、機側操作盤内開度計の読みを示す。
- 2、電圧・電流値は、機側操作盤の電圧・電流計の読みを示す。
- 3、温度計測値は、「温度計測位置図(任意様式)」に示す。

(様式4-2)

運 転 記 録 等 詳 細 報 告 書

地区名		箇所名		陸開名称	
整理番号		点検頻度	<input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 月点検 <input checked="" type="checkbox"/> 年点検 <input type="checkbox"/> 臨時()		
天候・気温		点検日		点検者	

区 分	点検項目	点 検 結 果					備 考
		発錆	ふくれ	剝離	亀裂	脆化	
扉 体	スキンプレート						
	桁部材						
	頂・背面板						
戸当り	固定戸当り						
	可動戸当り						
	敷き金物						
開閉装置	フレーム						
	機器類						
	カバー類						

良否の判定方法及び基準は、「機械工事塗装要領(案)・同解説」による。

塗膜厚劣化の判定基準

項目 劣化程度	発錆	ふくれ	剝離	亀裂	脆化
A	なし	なし	なし	なし	なし
B	僅かにあり	僅かにあり	僅かにあり	僅かにあり	僅かにあり
C	多い	多い	多い	多い	多い
D	著しい	著しい	著しい	著しい	著しい

判定基準により塗膜の劣化程度を判定する。

塗替基準

項目 劣化程度	塗膜の状態	塗替塗料の範囲
A	異常なし	塗替の必要なし
B	上塗り塗膜だけが劣化	上塗り塗膜の塗替
C	上塗り塗膜だけの劣化でなく、一部下塗りも劣化	上塗り、下塗り塗膜の塗替
D	上塗り、下塗り塗膜の劣化	同上

塗装の範囲は塗替基準による。

点検・整備要領表

- *1 重要機器...○
- *2 機能上著しく影響あり ... a
- 機能上影響あり ... b
- 機能上影響なし ... c
- *3 点検 E: 目視, M: 測定, H: 触診
- S: 聴診, D: 動作確認, W: 分解
- *4 トレンド管理を必要がある...○
- *5 点検条件 ... 倒伏, 起立, 動作, 作動
- *6 緊急巡視 全て行う ... ○
- 地震時のみ... (地)
- 落雷時のみ... (雷)
- 洪水時のみ... (洪)
- *7 整備 A: 調整, X: 交換, U: 補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう...○
- 精密調査 測定を行なう ... M

点検項目番号	装置区分	施設名		ゲート形式		neo RiSe		扉		備考							
		フラップゲート		式陸開		閉塞		体									
		設備に要求される機能		常時では人や車両が安全に通行できるが、浸水時には無動力かつ人為操作なしで開口部を閉塞		判定方法		処置 (保全整備)			定期整備						
点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	点検			*6 緊急巡視	不定期		*8 精密調査	*7 整備内容	実施間隔 (年)			
*1 重要機器	*2 影響度に対する適合					定期	年点検	臨時詳細		巡視	緊急巡視				臨時詳細	精密調査	
1	全般	c	清掃状態		倒伏 起立	E	E	(洪)	E								
2		c	コーキング		倒伏	E	E	(洪)	E								
3		b	振動		動作	E			E								
4		b		異常音		動作	S			S							
5	扉体	b	たわみ 変形		倒伏	E	E	(地) (洪) (雷)	E								
6		b		扉体着床状態		倒伏	E	E	(地) (洪)	E							
7		a	扉体浮上開始荷重		作動	M	M		M								

点検・整備要領表

- *1 重要機器…○
- *2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視, M：測定, H：触診
S：聴診, D：動作確認, W：分解
- *4 トレンド管理を必要がある…○
- *5 点検条件 … 倒伏, 起立, 動作, 作動
- *6 緊急巡視 全て行う ……○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *7 整備 A：調整, X：交換, U：補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう…○
精密調査 測定を行なう ……M

点検項目番号	装置区分	施設名		フレックサゲート		ゲート形式		neo RiSe		扉体								
		設備に要求される機能																
		*1 重要機器	*2 機能影響度合	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	点検		*6 緊急巡視	不定期		判定方法	処置 (保全整備)	*7 整備内容	定期整備 実施間隔(年)	備考	
8			b	たわみ変形		起立	E	E	○	E	○	目視で著しいたわみや変形がなければよい						原因調査
9			b	板厚減少		起立	E	E	○	E	○	目視で著しい腐食摩耗がなければよい	原因調査					
10			b	たわみ変形		起立	E	E	○	E	○	目視で著しいたわみや変形がなければよい	原因調査					
11			b	板厚減少		起立	E	E	○	E	○	目視で著しい腐食摩耗がなければよい	原因調査					
12			b	たわみ変形		起立	E	E	○	E	○	目視で著しいたわみや変形がなければよい	原因調査					
13			b	板厚減少		起立	E	E	○	E	○	目視で著しい腐食摩耗がなければよい	原因調査					
14			b	たわみ変形		起立	E	E	○	E	○	目視で著しいたわみや変形がなければよい	原因調査					
15			b	たわみ変形		倒伏	E	E	○	E	○	目視で著しいたわみや変形がなければよい	原因調査					車両走行に伴う段差や変形がある場合

点検・整備要領表

- *1 重要機器…○
- *2 機能上著しく影響あり … a
- 機能上影響あり …………… b
- 機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視, M：測定, H：触診
- S：聴診, D：動作確認, W：分解
- *4 トレンド管理を必要がある…○
- *5 点検条件 …… 倒伏, 起立, 動作, 作動
- *6 緊急巡視 全て行う …… ○
- 地震時のみ…(地)
- 落雷時のみ…(雷)
- 洪水時のみ…(洪)
- *7 整備 A：調整, X：交換, U：補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう…○
- 測定を行なう …… M

点検項目番号	装置区分	施設名		フラッグゲート形式		neo RiSe		扉体						
		設備に要求される機能		ゲート形式		neo RiSe		扉体						
		*1 重要機器	*2 機能影響度に対する適合	*4 トレンド管理	*5 点検条件	*3 点検		判定方法	処置 (保全整備)	定期整備 *7 整備内容	実施間隔(年)	備考		
16	トッブプレート	b	たわみ変形		倒伏	E	E						○	目視で著しいわみや変形がなければよい
17	トッブプレート止水ゴム	b	劣損変形		倒伏	E	E	○	目視で劣化、損傷、変形、摩耗がなければよい	交換				
18	内部充填材	a	劣損変形		倒伏	E	E	○	目視で異常な劣化、損傷、吸水がなければよい	交換				初期浮上力が許容値を超える場合
19	ボルト・ナット	b	ゆるみ		倒伏	E, H	E, H		目視および六角レンチで確認して、ゆるみがあればよい	増縮				
20		b	損傷食		倒伏	E	E		目視できず、変形、発錆がなければよい	交換				車両走行に伴う段差や変形がある場合
21		b	脱落		倒伏	E	E		脱落がなければよい	交換				
22	溶接部	b	割れ		起立, 倒伏	E	E	○	目視で割れがなければよい	原因調査				

点検・整備要領表

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
- 機能上影響あり …… b
- 機能上影響なし …… c
- *3 点検 E: 目視, M: 測定, H: 触診
- S: 聴診, D: 動作確認, W: 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 …… 倒伏, 起立, 動作, 作動
- *6 緊急巡視 全て行う ……○
- 地震時のみ ……(地)
- 落雷時のみ ……(雷)
- 洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A: 調整, X: 交換, U: 補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう ……○
- 精密調査測定を行なう ……M

点検項目番号	装置区分	フラップゲート式陸間		ゲート形式		neo RiSe				処 置 (保全整備)	定期整備		備 考	
		設備に要求される機能		点 検		*3					判定方法	実施内容		実施間隔 (年)
		*1 重要機器	*2 影響度に対する適合	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期	*6 緊急巡視	不 定 期	*8 精密調査					
23		○	a		動作確認	動作	D	D	○	ゲートの操作が異常なく できればよい。	原因調査			
24	支 承 部		b		ゆるみ	起立	E, H	E, H		目視および六角レンチで 確認して、ゆるみがなけ ればよい。	増 締			
25			b		損傷 腐食	起立	E	E		目視できず、変形、発錆 がなければよい。	交 換			
26			b		脱 落		起立	E	E	脱落がなければよい。	交 換			
27	側部水密ゴム		b		動作確認	動作	D	D	○	動作確認時に、水密ゴム がスムーズに追従してい ればよい。	原因調査			
28			b		劣 損 変 摩 化 傷 形 耗	倒伏	E	E	○	目視で劣化、損傷、変 形、摩耗がなければよ い。	交 換	X	10	
29	側部水密部		b		変 腐 食 形 食	倒伏	E	E	○	水密ゴムの取付に支障な く、目視で異常がなければ よい。	交 換			
30			b		ゆるみ	倒伏	E, H	E, H		目視および六角レンチで 確認して、ゆるみがなけ ればよい。	増 締			
31			b		損傷 腐食	倒伏	E	E	E		目視できず、変形、発錆 がなければよい。	交 換		
32			b		脱 落	倒伏	E	E	E	脱落がなければよい。	交 換			

点検・整備要領表

- *1 重要機器
- *2 機能上著しく影響あり
- *3 機能上影響あり
- *4 トレンド管理を要する必要がある
- *5 点検条件
- *6 緊急巡視
- *7 整備 A:調整, X:交換, U:補給
- *8 精密調査

点検項目番号	装置区分	施設名		フラッグゲート形式		neo RiSe		扉体				
		設備に要求される機能		ゲート形式		閉塞		閉塞				
		*1 重要機器	*2 機能影響度に対する適合	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	不定期	判定方法	処置(保全整備)	実施間隔(年)	備考	
33				劣損変摩	倒伏	E	○	目視で劣化、損傷、変形、摩耗がなければよい。	交換	X	2	押さえ板の側部から底部水密ゴムのはみ出ししている場合
34				変腐	倒伏	E	○	水密ゴムの取付に支障なく、目視で異常がなければよい。	交換			
35				ゆるみ	倒伏	E, H	E, H	目視および六角レンチで確認して、ゆるみがなければよい。	増			
36				損腐	倒伏	E	E	目視できず、変形、発錆がなければよい。	交換			
37				脱落	倒伏	E	E	脱落がなければよい。	交換			
38				劣損	倒伏	E	E	目視で劣化、損傷、変形、摩耗がなければよい。	交換	X	2	押さえ板の側部から底部水密ゴムのはみ出ししている場合
39				動作確認	動作	D	○	スムーズに動作していいばよい。	原因調査			
40				損腐	起立	E	○	目視できず、変形、発錆がなければよい。	原因調査			
41				張り具合確認	起立	E, H	E, H	目視・触診で張り具合が均一であればよい。	原因調査			

点検・整備要領表

- *1 重要機器…○
- *2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり … b
機能上影響なし … c
- *3 点検 E: 目視, M: 測定, H: 触診
S: 聴診, D: 動作確認, W: 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある…○
- *5 点検条件 … 倒伏, 起立, 動作, 作動
- *6 緊急巡視 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *7 整備 A: 調整, X: 交換, U: 補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう…○
測定を行なう …M

点検項目番号	装置区分	フラップゲート形式		ゲート形式				neo RiSe		扉体	
		設備に要求される機能		常時では人や車両が安全に通行できるが、浸水時には無動力かつ人為操作なしで開口部を閉塞				判定方法	処置 (保全整備)		
		*1 重要機器	*2 機能影響度に対する適合	*4 トレンド管理	*5 点検条件	点検 *3					定期整備
42	テンションロッド ブラケット	○	b	動作確認	動作	定期 巡視	*6 緊急巡視 D	*8 精密調査 ○	スムーズに動作していればよい。	原因調査	考 備
43			b	損傷 腐食	起立	E	E	○	目視できず、変形、発錆がなければよい。	交換	
44	リンクプレート	○	b	動作確認	動作	D	D	○	スムーズに動作していればよい。	原因調査	
45			b	干渉確認	動作	D	D	○	目視で扉体倒伏動作時に支承ベース同士の干渉がなければよい。	原因調査	
46	溶接部		b	損傷 腐食	起立	E	E	○	目視できず、変形、発錆がなければよい。	交換	
47			b	割れ	起立	E	E	○	目視で割れがなければよい。	補修	

点検・整備要領表

- *1 重要機器…○
- *2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視, M：測定, H：触診
S：聴診, D：動作確認, W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある…○
- *5 点検条件 …… 倒伏, 起立, 動作, 動作
- *6 緊急巡視 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *7 整備 A：調整, X：交換, U：補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう…○
測定を行なう ……M

点検項目番号	装置区分	施設名		neo RiSe										戸当り
		フラップゲート	ゲート形式	常時では人や車両が安全に通行できるが、浸水時には無動力かつ人為操作なしで開口部を閉塞										
		設備に要求される機能		点検			点検			判定方法		処置		
		*1 重要機器	*2 機能影響度に対する適合	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	*6 緊急巡視	不定期	*8 精密調査	判定方法	処置	*7 整備内容	実施	備考
48			c		倒伏	巡視	E	(洪)	E	①扉体水密部、支承部に ごみ、土砂などがなければよい。 ②異常な腐食がなければよい。	清掃			
49			b		倒伏	E	(地)	(洪)	E	目視で摩耗、きず、変形、発錆がなければよい。	原因調査			
50			b		倒伏	E, H		E, H		目視および六角レンチで確認して、ゆるみがないければよい。	増			
51			b		倒伏	E		E		目視で脱落がなければよい。	交			
52			b		倒伏	E		E		目視できず、変形、発錆がなければよい。	交			
53			b		倒伏	E		E	○	目視で割れがなければよい。	補			

点検・整備要領表

- *1 重要機器
- *2 機能上著しく影響あり … a
- 機能上影響あり … b
- 機能上影響なし … c
- *3 点検 E: 目視, M: 測定, H: 触診
- S: 聴診, D: 動作確認, W: 分解
- *4 トレンド管理を必要とする必要がある … ○
- *5 点検条件 … 倒伏, 起立, 動作, 作動
- *6 緊急巡視 全て行う … ○
- 地震時のみ … (地)
- 落雷時のみ … (雷)
- 洪水時のみ … (洪)
- *7 整備 A: 調整, X: 交換, U: 補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう … ○
- 精密調査 測定を行なう … M

点検項目番号	装置区分	施設名		フラップゲート形式		neo RiSe		起立補助装置					
		設備に要求される機能		ゲート形式		起立補助装置		起立補助装置					
		*1 重要機器	*2 機能影響度に対する適合	点検・整備		常時では人や車両が安全に通行できるが、浸水時には無動力かつ人為操作なしで開口部を閉塞		起立補助装置					
		項目	内容	点検			判定方法	処置 (保全整備)	定期整備	実施 間隔 (年)	備考		
				*4 トレンド管理	*5 点検条件	*6 年点検 巡視						*7 緊急巡視	*8 精密調査
54		設備全般	清掃状態		倒伏	E (洪)	E	E	ひどい汚れや油等の付着がなければよい。	清掃			
55		塗装	損傷・劣化		倒伏	E	E	E	亀裂、ふくれ、剥離、発錆、劣化がなければよい。	補修			「機械工事塗装要領(案)・同解説」による
56		構造全体	振動・異音		動作	S・H	S・H	○	有害な振動・異音音がなければよい。	原因調査			
57		溶接部	割れ		倒伏	E	E	○	目視で割れがなければよい。	補修			
58		ボルト・ナット	ゆるみ・脱落		倒伏	E, H	E, H		目視および六角レンチで確認して、ゆるみがなければよい。	増締			
59			変形・発錆		倒伏	E	E		目視できず、変形、発錆がなければよい。	原因調査			
60	○	カウンタウエイト	動作確認		動作	D	D	○	スムーズに動作していればよい。	調整 原因調査			
61			動作確認		動作	D	D	○	ワイヤロープの動作と同時に戻正に回転していればよい。	調整 原因調査			
62	○	シーブ (海側)	溝部の摩耗		倒伏	E	E	○	ワイヤ溝部、ツバに著しい摩耗、損傷がなければよい。	原因調査			

点検・整備要領表

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
- 機能上影響あり …… b
- 機能上影響なし …… c
- *3 点検 E: 目視, M: 測定, H: 触診
- S: 聴診, D: 動作確認, W: 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 …… 倒伏, 起立, 動作, 作動
- *6 緊急巡視 全て行う ……○
- 地震時のみ ……(地)
- 落雷時のみ ……(雷)
- 洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A: 調整, X: 交換, U: 補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう ……○
- 測定を行なう ……M

点検項目番号	装置区分	施設名		ゲート形式				neo RiSe				起立補助装置													
		フラップゲート式陸開		常時では人や車両が安全に通行できるが、浸水時には無動力かつ人為操作なしで開口部を閉塞				定期整備		処置 (保全整備)		定期整備													
		*1 重要機器	*2 機能影響度に対する	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	*6 緊急巡視	不定期	*8 精密調査	判定方法	処置 (保全整備)	*7 整備内容	実施間隔 (年)	備考											
63		○	b		倒伏	巡視	E, H	年点検	E, H	緊急巡視	E, H	臨時詳細		目視および六角レンチで確認して、ゆるみがない。確認して、ゆるみがない。	増										
64		○	b		起立			起立					M	ノギス等により計測を行い、軸の外径、軸受 (メタルブッシュ) の内径の摩耗が径の1%以下であり、損傷がなければよい。	交換									シーブの溝部に異常な摩耗がある場合	
65			a		動作			動作	D		D		○	ワイヤロープの動作と同時適正に回転してよい。	調整										
66			b		倒伏			溝部の摩耗	E		E		○	ワイヤ溝部、ツバに著しい摩耗、損傷がなければよい。	原因調査										
67		○	b		倒伏			ボルト・ナット	E, H		E, H		E, H	目視および六角レンチで確認して、ゆるみがない。確認して、ゆるみがない。	増										
68			b		起立			軸・軸受					M	ノギス等により計測を行い、軸の外径、軸受 (メタルブッシュ) の内径の摩耗が径の1%以下であり、損傷がなければよい。	交換										シーブの溝部に異常な摩耗がある場合

点検・整備要領表

- *1 重要機器…○
- *2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり … b
機能上影響なし … c
- *3 点検 E：目視, M：測定, H：触診
S：聴診, D：動作確認, W：分解
- *4 トレンド管理を必要がある…○
- *5 点検条件 … 倒伏, 起立, 動作, 動作
- *6 緊急巡視 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *7 整備 A：調整, X：交換, U：補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう…○
測定を行なう …M

施設名	フラップゲート式陸開		ゲート形式		neo RiSe		起立補助装置			
	設備に要求される機能		常時では人や車両が安全に通行できるが、浸水時には無動力かつ人為操作なしで開口部を閉塞							
点検項目番号	装置区分	点検・整備		点検		判定方法	処置 (保全整備)	定期整備	備考	
		*1 重要機器	*2 機能影響度に対する適合	*4 トレンド管理	*5 点検条件					定期
69			b		倒伏	E	ごみ・異物の付着	E	清掃	
70		○	b		倒伏	E	ワイヤロープ (起立補助ワイヤ)	E	交換	
71			a		倒伏	E	素線切れ	E	交換	
72			b		倒伏	E	変形・発錆	E	交換	
73		○	a		動作	D	動作確認	D	調整 原因調査	

点検・整備要領表

- *1 重要機器 ……○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E : 目視, M : 測定, H : 触診
S : 聴診, D : 動作確認, W : 分解
- *4 トレンド管理をする必要がある ……○
- *5 点検条件 …… 倒伏, 起立, 動作, 作動
- *6 緊急巡視 全て行う ……○
地震時のみ ……(地)
落雷時のみ ……(雷)
洪水時のみ ……(洪)
- *7 整備 A : 調整, X : 交換, U : 補給
- *8 精密調査 精密調査を行なう ……○
測定を行なう ……M

施設名	フラップゲート式陸開		ゲート形式		neo RiSe		付帯設備		
	設備に要求される機能								
	装置区分	点検・整備	内容	点検	判定方法	処置 (保全整備)	定期整備	備考	
点検項目番号	*1 重要機器	*2 影響度に対する	*4 トレンド管理	*5 点検条件	*6 緊急巡視	*7 精密調査	*8 臨時詳細	実施間隔(年)	
74		c	動作確認	動作	D	○	○		
75		c	溝部の摩耗	倒伏	E	○	○		
76		c	ボルト・ナット	倒伏	E, H		E, H		
77		c	軸・軸受	倒伏		M			シーブの溝部に異常な摩耗がある場合
78		c	ごみ・異物の付着	倒伏	E		E		
79		c	変形・発錆	倒伏	E		E		
80		c	素線切れ	倒伏	E		E		
81		c	変形・発錆	倒伏	E		E		
82		c	動作確認	動作	D		D		

